

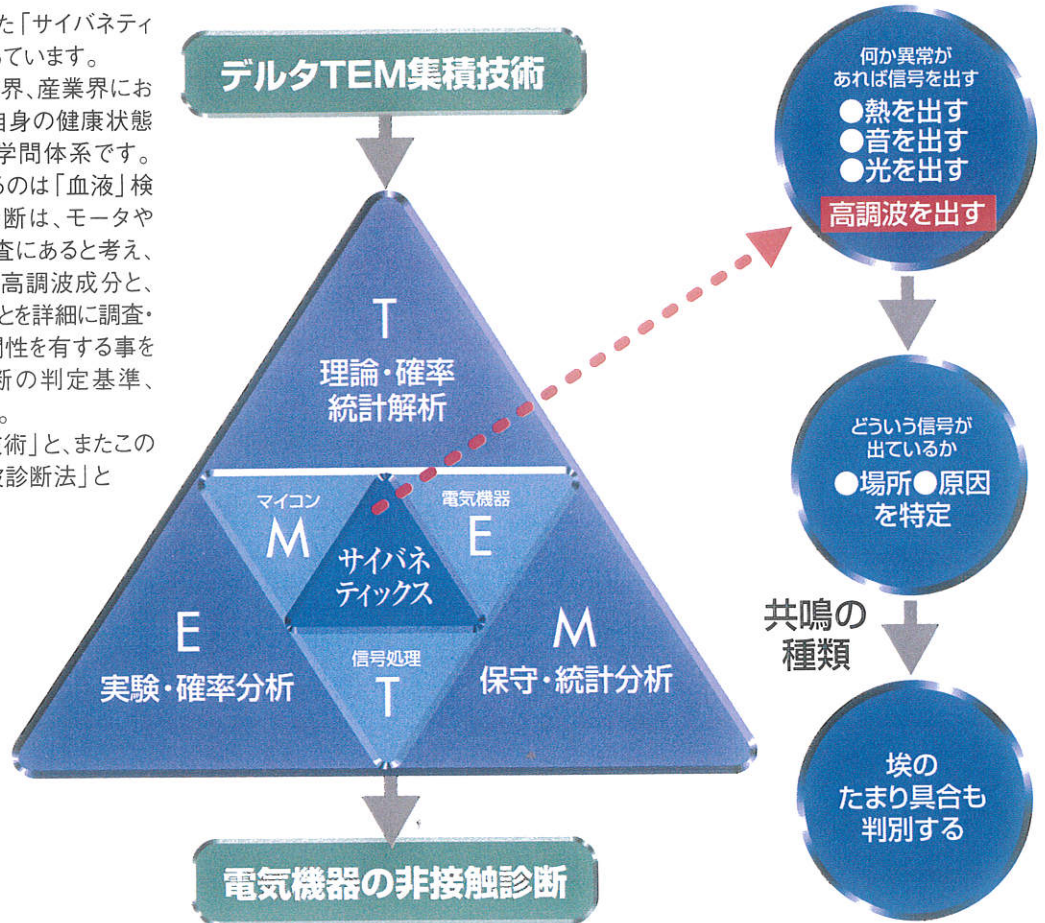
新開発の複合高調波診断技術で、 モータやインバータを診断。 まさに人間の血液検査と同じ理論です。

工場の生産性向上や、病院・ホテル・研究所・情報関連事業所などの設備管理に効果を発揮します。

KSシリーズの原理

ノバート・ウィナー博士の提唱した「サイバネティクス」という学問がヒントになっています。「サイバネティクス」とは“自然界、産業界におけるあらゆる物体、物質は自分自身の健康状態を外部に知らせている”と言う学問体系です。人の健康診断の最も基本となるのは「血液」検査ですが、設備自身の健康診断は、モータやインバータに流れる「電流」検査にあると考え、長年に亘り電流及び電流中の高調波成分と、電気設備機器の異常・劣化状態とを詳細に調査・分析した結果、両者に高い相関性を有する事を初めて見出し、異常・劣化診断の判定基準、ノウハウを確立するに至りました。この技術を「デルタTEM集積技術」と、またこの新しい診断方法を「複合高調波診断法」と命名しました。

10年以上の
統計データがポイント
**90%以上の
診断確率**



KSシリーズの設備診断目的

■コストの削減

- (1) 設備停止時間の減少による操業率の向上
- (2) 材料費、人件費等保全費の削減
- (3) 取替周期の延長
- (4) 点検整備の削減

■トラブルの事前防止

- (1) 高度な保守要員が不要
- (2) 偶発故障の防止
- (3) 予知保全が可能

■信頼性の向上

- (1) 災害の未然防止
- (2) 計画生産の遂行による需要家からの信頼度のアップ

■生産性の向上

- (1) 不良製品の減少による歩留り向上
- (2) トータル生産保全の推進が可能

■安全性の向上

- (1) 非接触診断のため活線測定が可能
- (2) 簡便かつ迅速な診断が可能で、現場環境の影響を受け難い

■品質の向上

- (1) 設備機器の性能維持による製品の品質生産が可能
- (2) 設備機器の効率低下を防ぎ周辺設備への誤動作を防止する

■故障機器廃棄物の削減

- (1) 部品もしくは基板交換のみでよく機器を長期間使用出来る
- (2) 3R (減容、再使用、再利用) 化により資源の有効活用が図れる